

Vol.
202

Handa Byouin Dayori 

半田病院だより



〈糖尿病部会〉

半田市立半田病院 広報部会

「糖尿病」の名前が変わる!?

糖尿病・内分泌内科 医師 蓬臺 優一

近い将来、「糖尿病」という病名は他の名称に変更となるかもしれません。

令和4年11月、日本糖尿病協会は「糖尿病」という名称の変更を検討する方針を明らかにしました。その背景には、糖尿病のスティグマ、それを払拭するアドボカシー活動があります。

・スティグマとアドボカシー活動とは

スティグマとは、特定の属性に対して刻まれる「負の烙印」(社会的偏見による差別)のことを指します。近年の糖尿病治療の向上により、適切に治療を行うことで健常者と変わらない生活を送ることができるにもかかわらず、糖尿病をもつ人が社会的に様々な不利益を被るケースが多々あります。これを放置すると、患者さんは糖尿病であることを周囲に隠したり、治療から足が遠のいたりすることで、糖尿病が重症化することに繋がります。このスティグマを取り除くことで、糖尿病をもつ人が安心して社会活動を送り、糖尿病のない人と変わらない人生を暮らせるような社会形成を目指す活動がアドボカシー活動です。

この活動の一環として、「糖尿病」という病名に何らかの抵抗感・不快感をもつ人が多く、その名称変更が検討されています。

今後、みんなで力を合わせ、よりよい社会になっていくことを願っています。

私たち医療従事者も糖尿病の療養指導の際には、禁止・拒否・否定をせず、患者さんの選択・行動を尊重し、命令ではなく提案を行い、相互理解の上で治療を進めていくことを心がけていきます。

皆さんはどのような名称になるといいなと思いませんか？



偏見にNo!
糖尿病をもつ人は、
あなたと同じ社会で活躍できる人です。

糖尿病について何も知らない人々からの誤解や偏見のために、
仕事や家族、結婚、フューチャーの夢を捨てた人もいます。
病気のことや苦しみ、難題をしながら生活している人もいます。
糖尿病治療に前向きになれない人もいます。
近年、糖尿病は治療が飛躍的に向上し、
自分や人と変わらないペースを送ることができるようになりました。
「私は糖尿病には無関係だから、知らなくていいんじゃない?」
いいえ。
今、あなたの、そして社会全体の正しい理解が必要です。

糖尿病には、あなたの正しい理解が必要です。

公益社団法人 日本糖尿病協会 一般社団法人 日本糖尿病学会
糖尿病とともに生きる人の可能性や未来を偏見で構み取らない社会づくりに私たちは取り組みます。

お薬について

薬剤科 薬剤師 鰐部 紗矢香

皆さんは糖尿病のお薬は何のために使うと思いますか？

糖尿病のお薬は血糖が高いことで起こる合併症を予防するために服用しています。

血糖が高い状態が続くと血管にダメージを与えてしまいます。その結果、脳梗塞や腎症、網膜症などの合併症を起こしてしまうことが知られています。

血糖が高いだけでは自覚症状は起こりにくいので飲まなくてもいいやと思ってしまうかもしれませんが、血糖コントロールをよくして、健康な状態を維持するために糖尿病のお薬は大切なので必ず継続してください。

また、お薬が始まったら食事療法・運動療法はやらなくてもいいと思ってしまうかもしれませんが、必ず続けてください。

というのも、糖尿病治療において最も大事なことは食事療法、次に運動療法と言われ、3番目に薬物療法が登場します。お薬は食事・運動療法で血糖値がよくなる場合にそれをサポートするために使用されます。お薬が始まったからと言って食事・運動療法をやめてしまうと薬がどんどん必要になってしまいます。

お薬に関して何か疑問点があれば医師または薬剤師にご相談ください。

「糖尿病透析予防チーム」について

糖尿病看護認定看護師 舘林 真由美

糖尿病には2つのタイプがあり、1型糖尿病は全体の糖尿病の5%以下で、原因不明ですが膵臓が障害されインスリンが全く出なくなるので生涯インスリン注射が必要になります。

2型糖尿病は生活習慣と遺伝的な素因により40歳以降に発症する方が多く、日本では糖尿病患者数は1,000万人に達し、糖尿病による合併症の克服が重要な課題になっています。糖尿病特有の細小血管障害は血糖が長期持続的に高いことで起こります。糖尿病網膜症により失明する患者は年間約3,000人あり、糖尿病性腎症では透析導入の原因の第1位であり、糖尿病性神経障害は糖尿病の慢性合併症として最も多く、糖尿病壊疽による足切断は非外傷性切断原因の第1位です。そのため早期に、糖尿病の合併症が出現する前、糖尿病と診断された時などに血糖をコントロールし、糖尿病の自己管理ができるよう支援することが求められます。糖尿病治療の基本は食事・運動・薬物療法で、日常生活そのものが糖尿病療養となります。当院での糖尿病教育入院は、患者さんのニーズや社会背景に応じて自己管理できるよう、医師による個別化した治療と合併症精査の各種検査の実施、食事・運動療法を体験しながら糖尿病の正しい知識を持ってもらうため、多職種でチームを組み10回の糖尿病教室(下記参照)では、それぞれ専門性を生かした分野で担当、連携し患者さんに合わせた支援を行っています。

■糖尿病教室内容と担当表

内 容	担当者	内 容	担当者
●糖尿病とは	医師	●運動療法	理学療法士
●糖尿病合併症	医師	●歯の手入れ	歯科衛生士
●検査	臨床検査技師	●フットケア/連携手帳	看護師
●薬物療法	薬剤師	●シックデイ/災害対策	看護師
●食事療法	管理栄養士	●糖尿病の付き合い方	看護師

HbA1c(過去1~2か月の平均血糖値を反映する)

**HbA1c
6.0%未満**

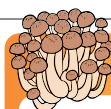
・血糖正常化を目指す際の目標

**HbA1c
7.0%未満**

・合併症予防のための目標

**HbA1c
8.0%未満**

・治療強化が困難な時の目標



糖尿病3大合併症

し 神経の障害
糖尿病神経疾患

め 目の障害
糖尿病網膜症

じ 腎臓の障害
糖尿病腎症

運動療法 について

リハビリテーション技術科 理学療法士 間瀬 史奈

運動療法是食事療法や薬物療法と並んで糖尿病治療の大きな柱になります。運動は血液中のブドウ糖を消費して血糖値を下げたり、肥満を解消させる等の働きがあります。基本的には酸素を十分に取り入れて身体全体の筋肉を使う有酸素運動が効果的であるとされています。ウォーキングや自転車運動、水泳など自分に合った運動を選択し、食後に軽く汗をかく程度の運動を1日20分、週3回のペースで継続していくことが糖尿病の予防・進行にとっても大切になります。まずは運動に関して疑問点や質問等があれば気軽に私たち理学療法士に相談してください。

自己血糖測定について

臨床検査技術科 臨床検査技師 島津 健太郎

糖尿病の治療は血糖のコントロールが基本です。血糖の動きはいつも一定とは限らず、さらにインスリンや飲み薬によってその動きは複雑になります。

特にインスリン療法では、血糖の状態によってインスリン注射や食事の調整が必要なため、きめ細かい血糖のチェックが必要です。日常生活でも自分で血糖のチェックをできるようにしたのが自己血糖測定です。

これは患者さん自身が指先から採血して血糖値を測定するもので、食前・食後を中心に一日何回か行います。

自己血糖測定の結果を記録するだけでなく、なぜそのような値が得られたのか原因を考えることも大切です。そのため、食事や運動などの血糖値を変化させる原因となるような行動も備考欄にメモしておく役立ちます。

糖尿病治療において自分で血糖値を測定することは生活習慣を見直したり、低血糖を予防したり、インスリンの量を調節したりして、より良好な血糖コントロールを保つためにとても重要なものです。

当院では、自己血糖測定の説明を中央採血室にて臨床検査技師が行っています。自己血糖測定や糖尿病についてのご質問を気軽におたずねください。



当院が使用している自己血糖測定器

食事療法について

栄養科 管理栄養士 押山 悠希

糖尿病治療で食事療法は重要な役割を果たしています。私たち管理栄養士は患者さんそれぞれのライフスタイルに合わせた食事療法を、糖尿病患者さんとその家族が継続できるように支援しています。

食事療法のポイントは、急激な血糖上昇を予防するため甘い物や間食を控え、1日3食バランスの良い食事を推奨しています。

お子さんのそだち・くらしが気になったら

小児科 医師 須藤 祐司

当院小児科では発達障害を含めた、お子さんのそだち・くらしの相談・診療を行っています。必要に応じて公認心理師による検査や面接をご案内します。また、市町村役場・学校・園などと適宜連携して、お子さんがくらしの中でのびのび育つことが出来るようお手伝いしています。

例えば以下のようなことが気になった際は、かかりつけ小児科医や、お住まいの市町村役場にご相談の上、外来を受診いただければと思います。

- ・ことばのおくれ
- ・こだわりが強い
- ・かんしゃくが強い・多い
- ・おちつきがない
- ・寝つきに時間がかかる、夜泣きが強い・多い
- ・朝なかなか起きられない
- ・午前中からだるい

など



いきいき健康講座

を再開します



地域の皆さんの健康支援・増進を目的として「いきいき健康講座」を毎月開催し多くの方にお聞きいただいていたが、コロナ感染の影響で2年間中止をしていました。しかし今年度は感染対策をとりながら、4月から再開致します。いきいき健康講座は医師、看護師、薬剤師、栄養士等様々な職種で構成されている「ヘルスプロモーションチーム」が担当しています。申し込み不要ですのでご興味のある方はお気軽にご参加ください。

「はんだ健康マイレージ」対象事業です。(詳細は半田市ホームページ参照)

開催日 毎月第2水曜日 午前10時30分～(30分程度)
場所 半田病院正面玄関ホール



日程	講座内容	講師
4月12日	脳梗塞一次予防について	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
5月10日	熱中症予防と脱水症対策について	救命救急看護師
6月14日	口腔乾燥について	歯科衛生士
7月12日	もしもの時の話し合い～ACPってなに？	患者サポートセンター看護師
8月9日	自分でできる感染対策～自分の行動を振り返ろう～	感染対策チーム
9月13日	放射線被曝について	放射線技師
10月11日	サルコペニア(筋肉量低下)・フレイル(虚弱)を予防し、健康寿命を延ばしましょう	管理栄養士
11月8日	認知症予防について	認知症看護認定看護師
12月13日	嚥下障害について～原因と予防～	摂食・嚥下認定看護師
令和6年1月10日	おくすり手帳の上手な使い方	薬剤師
2月14日	心臓についての検査	臨床検査技師
3月13日	フレイルとは？	理学療法士

団体様への出張講座も随時受け付けています。ご興味のある方は半田病院ホームページをご覧ください。
問い合わせ先：半田病院 看護局 (22-9881)

がん登録について

医療情報管理室 診療情報管理士 杉澤 侑佳

皆さんは『がん登録』と聞いてどんなものか想像がつくでしょうか？がん登録とは、病院や診療所が「がん」と診断された患者さんの治療内容、ステージなどを登録することです。登録した情報は都道府県と国が保管、整理し解析を行います。

皆さんの身近なところだと、テレビや新聞で「日本人の2～3人に1人はがんになります。」「近年胃がんの死亡者数は減少傾向にあります。」などがんに関する情報を目にすることがあると思います。日頃皆さんが目にしてる「がん」に関する情報は、病院や診療所が行う『がん登録』が元になってできています。

がん登録の精度向上を目的として発足された『がん登録実務認定試験』というものがあります。試験には中級と初級があり、令和4年度は中級1名、初級2名が合格しました。今後も皆さんに正確ながん情報をお伝えできるように、日々勉強して知識を増やし精進して参ります。





◆採用予定日 令和6年4月1日

(看護師・助産師【B日程(キャリア採用)】については、令和5年10月1日、令和6年1月1日採用も同時募集)



職種	採用予定人数	採用試験日	受験資格
助産師 看護師	40名程度	【A日程(新卒採用)】年2回開催 ①一次試験:5月13日(土) 二次試験:5月25日(木) ②一次試験:8月3日(木) 二次試験:8月22日(火)	・昭和39年4月2日以降に生まれた方 ・助産師免許または看護師免許を取得済みの方で、令和5年3月末時点で実務経験が3年未満の方 ・令和6年3月末までに助産師免許または看護師免許を取得見込みの方(採用希望職種が助産師の方で、看護師としての実務経験が3年以上ある場合は、【B日程】で申込みしてください)
		【B日程(キャリア採用)】年2回開催 ①試験日:8月22日(火) ②試験日:10月12日(木)	・昭和39年4月2日以降に生まれた方 ・助産師免許または看護師免許を取得済みの方で、令和5年3月末時点で実務経験が3年以上の方(採用希望職種が助産師の方で、看護師としての実務経験が3年以上ある場合は、【B日程】で申込みしてください)
薬剤師	2名程度	一次試験:4月21日(金) 二次試験:5月11日(木)	・昭和39年4月2日以降に生まれた方 ・各免許証または各資格証を取得済みの方 ・令和6年3月末までに各免許証または各資格証取得見込みの方
臨床工学技士	3名程度	一次試験:5月13日(土) 二次試験:5月27日(土)	
診療放射線技師	4名程度		
理学療法士	2名程度	一次試験:5月14日(日) 二次試験:5月27日(土)	
作業療法士	1名程度		
言語聴覚士	1名程度		
臨床検査技師	4名程度		
事務職 (社会福祉士)	3名程度		

詳しくは半田病院ホームページ内採用情報の「令和5年度半田市立半田病院採用候補者試験募集要項」を必ずご確認ください。

◆問い合わせ 半田病院管理課 ☎0569-22-9881 ✉byouin@city.handa.lg.jp

+ 病院だより+ 新病院コラム その 12



新病院JV

新病院建設工事の現在の状況は??

令和3年7月から造成工事に着手し、9か月がたとうとしています。現在は、造成工事、地盤改良工事が完了し、建物を支える大切な基礎工事を行っています。そこで着工から建設風景がどのように変わったのか、1か月ごとに並べてみました。



令和4年6月
田園風景



令和4年7月
まずは草刈り



令和4年8月
調整池施工中



令和4年9月
造成工事施工



令和4年10月
造成工事施工



令和4年11月
東側の擁壁を施工



令和4年12月
地盤改良施工



令和5年1月
地盤改良施工



令和5年2月
南側の道路を整備中

そして…
令和7年の
春には…



1か月ごとの現場風景写真や工事の状況も施工会社(新半田病院JV)のHP(右上のQRコード)に掲載されていますので、是非ご覧ください。工事中、皆様にはなにかとご不便、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 愛知県半田市東洋町2丁目29番地 TEL 0569-22-9881 FAX 0569-24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL https://www.handa-hosp.jp



ホームページ



YouTube